

「産業文化祭」を11月に

21・22の両日に盛大な行事を予定

町の発展の発展を祝う「農業祭」を昨年十一月に実施し、盛況をよびました。ことしは趣向をかえ「産業文化祭」として、十一月の二十一日、二十二日の両日に

行 事 名	期 間	実施主体名	会 場
農産物品評会	21~22日	農協及各農業団体	八郷公民館
盆裁展示会	22日	庭園樹生産組合	八郷公民館
乳牛・種豚共進会	22日	農協及各畜産団体	八郷公民館グランド
菊花展示会	21~22日	養 菊 会	柿岡小学校
いけばな展覧会	21~22日	生花指導家	八郷公民館
美術展覧会	22日	公民館・学校	八郷公民館
俳句・短歌・茶道	22日	公民館及文化団体	八郷公民館
将棋大会	22日	公民館及愛好家	老人福祉センター
鼓笛隊・ブラス	22日	八郷高校及柿岡中	柿岡商店街
バンドパレード	22日	柿岡小鼓隊	柿岡商店街

大きな行事になります。おまな催しものは表のとおりですが、そのほか、町内の工場からは、かすかすの製品も展示される「物産展」も行なわれる予定です。また、当日は「古代風俗行列」や「郷土民芸行列」など、ブラスバンドを先頭に商店街をねり歩くアトラクションも予定されています。

少年事件の調査審判

家庭裁判所で取り扱う事件には、家庭や親族の問題に関する家事事件と非行のあった少年に関する少年事件の二つがあります。このうち、少年事件というのは、二〇才未満で罪を犯した少年や、放置すれば将来罪を犯すおそれのある少年などを対象とする事件で、家庭裁判所は、これらの少年に刑事責任を問う前に、できるだけ教育的な手段によって少年の更正をはかり、再び犯罪を行なうことのない健全な社会人になるよう少年を保護育成することを目的として、あらゆる科学的方法を活用して、少年に対して適切な処置を決定するため努力を払っているのです。

少年事件に対しては、少年法という法律が適用されこれにはどのように調査を

家裁をとおして 更正の道をあたえる

おり、大人の刑事事件と違って、警察だけの調べで終わったり、検察官が家庭裁判所の処置を求めないでまさせるというのではできません。家庭裁判所が、少年事件の調査や審判をするにあたって、実際にどのようにするかをみてみましょう。少年が非行を犯したり、あるいは、放置すれば非行をす

県移動相談室を開く 豚のふん尿処理の問題など 指導をただす声がでる

住民のなまの声を聞き、それを県政に反映させようとする移動相談室が開かれました。

移動相談室には、地方県民室から係員二名が八郷公民館に向き、九月二十二日、午前一〇時から、約四時間にわたって開かれました。この日、相談に見えた人たちは、日ごろの県政について、意見や苦情などを述べ、係員はそれらを取りまとめ、適切な助言を行ない、住民の意にそなうよう改善をはかることを約束しました。

生産団地の形成に意欲 すもも組合が発足する

第三の果実として期待が大きいすももの生産を伸ばそうと、このほど、すもも組合が発足しました。



設立総会であいさつする町長 一八郷公民館

第三の果実として期待が大きいすももの生産を伸ばそうと、このほど、すもも組合が発足しました。町長のあいさつによると、組合の発足は、町民の熱意と生産者の強い要望によって設立されたこと、このたびは、八郷町すもも組合として発足したものです。十月八日に行なわれた設立総会では、会員が多数出席し、組合規約の選定や事業計画などについて、慎重な検討が行なわれました。この席上

対しては、住民の人たちからも「一戸の養豚家のために、多くの人たちが迷惑をかけたのではたまらない。健康上にも影響が大きい。移動相談室に見えた人の意見を聞く係員



「共同募金」にご協力を みなさんの善意で明るい社会

ことしも共同募金の季節になりました。全国民があたたかい手をつなぎ、豊かな心をよみ美しく育てるために、ぜひ、「赤い羽根」共同募金にご協力をお願いします。あつまったお金は、社会福祉施設の老人ホーム養護施設などにふり向けられ、たいへんよろこばれています。町でも、この運動を展開するために、各婦人会や区長さんがたにおねがいし、募金をはじめま

10月の納税 町民税 第3期分 (半年賦払) (1)貸付期間 四年六月

設備の近代化に 資金や機械貸与を実施 中小企業者の経営合理化をはかることを目的に、設備の近代化に必要な資金や機械貸与を行なっています。 (1)貸付期間 五年(一年据置) 四カ年の半年賦償還 (2)貸付率 設備価格の五〇パーセント以内 (3)貸付額 一〇万円以上五〇万円 (4)利子 無利子 (5)保証人 二名以上 (6)設備貸与制度(原則として従業員二〇名以下の企業) 十一月三十日まで その他、くわしいことは商工会でおたずねください



乾田化が期待される36ヘクタール

館土地改良区も整地にはいる 大規模農道に通じる町道も設置

団体営事業として、国と町の補助で、館から小倉にいたる農地三六ヘクタールのほ場整備を二年連続事業で行ないます。まず、本年度は、大正橋から西川橋にいたる農地一八・八ヘクタールを実施するために工事にはいりました。

工事の概要

理事長 高橋義一氏
受益戸数 一二〇戸

区画割は、標準二〇メートル(八〇メートル×二五メートル)に整地し、道路は幅員六メートルの幹線道路を農地の中央に設置します。この道路の総延長は二〇六メートルになります。これから通じる支線道路(幅員五メートル)を二路線(総延長一、四〇〇メートル)設置し、機械化に備えての耕作道は、一六〇メートルおきに合計一四路線を設置します。このほか、来年度には、改良区の北側に幅員七メートルの町道が設置される予定です。

この道路は、大規模農道に接続するもので、将来はパイパス的な役割をはたすことになりま。

土地改良による

営農方向

農地の整備、機械化による省力化、そして、集団的生産組織の強化による協業化をはかることが大きな目標です。また、生産性の高い作物を栽培するために



八郷高に体育館が完成する

10月7日に盛大な完成式

八郷高校(高野省一校長)に体育館が完成しました。体育館は、鉄骨ドーム型のモダンな建てもので、広さは1,730平方メートル。屋内には、バスケットボールコートが二面とバレーボールコート、バドミントンコートなどがとれます。総工費は6,421万円。

10月7日には、関係町村長、PTA役員、同窓生など多数出席のもとで、盛大な完成式が行なわれました。完成式では、工事経過報告、来賓祝辞などがあり、最後に生徒代表が、念願だった体育館完成のよろこびのことばと、協力していただいた人たちに、お礼のことばをのべました。(写真は完成式席上あいさつに立つ実行委員長)



完全なかんがいが必要で、とくに畑地のかんがいは、天候に左右されず、自由に収益の多い作物を取り入れ

栽培するために絶対必要です。このようなところから、安定した農業経営を行なうために、この土地改良事業は、大きな役割をはたすことになりま。

改良区の中央に掘られた幹線用排水路 館改良区

全日写八郷支部

お年寄りに 写真をプレゼント

全日本写真連盟八郷支部(代表太岐口泰順氏)では、ことしも、「敬老会」に出席したお年寄りたちを撮影した、カラー写真をプレゼントしました。写真は、柿岡、恋瀬、瓦会小椋の四地区で行なわれた「敬老会」に出席した、八〇才以上のお年寄り七八名を対象に行なわれたものです。



はがき大に引き伸ばされた写真は、白い台紙にそえられて、このプレゼントを心

まちにしていたお年寄り、ひとりひとりに手渡されました。

全日写八郷支部のこの催しは、ことしで九年目をむかえましたが、ことしはじめてのころと異なり、「敬老会」に出席した最高令者には、画用紙の半さいの大きさに引き伸ばした写真を送ることに、大字瓦谷の石田せき翁さんが、この幸運なプレゼントを受けました。すばらしいプレゼントをころよく受けたせき翁さんは、うれしそうに自分の写真を見つめながら、昔のなつかしい思い出を語っていました。

なお、全日写八郷支部では、来年も、お年寄りに写真のプレゼントをするという予定です。

身障者にと

現金一千七百元

このほど小見一本松子と

一回目の梨品評会

午前中いっぱい

品評会が終了して、午前中いっぱい会場に展示された梨は、希望者に安くゆずられ、秋の味覚をたくさんの人にたのしませました。品評会では、次のかたがたが入賞しました。

- 優等 石井登(宮ヶ崎)
- 一等 武川甲子雄(月岡)
- 市村福男(石沢)
- 二等 森和久(柿岡) 中島尚次郎(東成井) 中島治義(加生野) 小林康芳(須釜)
- 三等 飯村春男(山崎) 三輪宗伸(輪宗伸)
- 飯田隆(飯田隆)
- 名取国穂(月ノ内)
- 桜井順(川又)
- 飯田英夫(小幡)



花ひらく国民年金(10)

「保険料をもっと多く納めてもよいから、もっとたくさんのお金を」という加入者のかたがたの要望をとり入れ、昨年十月からスタートした所得比例制は、七月末の加入者が、約二千五百人に達しました。

この所得比例制の加入と農業者年金の加入との関係が理解しず、申し出をしない人や、肝心の保険料を納めない人がいますのでご注意ください。

所得比例制の加入は、本人の希望による場合と、か

所得比例制と

農業者年金

が、保険料を納期までに納めないと、自然に所得比例制からぬけたことになりま

必ず加入

農業者年金の被保険者はかならず国民年金の所得比例制に加入しなければなりません。したがって、農業者年金の被保険者は、必然

的に国民年金の被保険者です。ですから、農業者年金の加入者は、所得比例保険料を納められない場合でも所得比例制をやめることができます。保険料は月三〇〇円、定額の保険料四五〇円の合わせて八〇〇円を納めることとなります。年金額は、二五年納めた場合、〇〇〇円が支給され、夫婦のうちいっぽうが所得比例制に加入していると、合わせて月二〇、〇〇〇円が支給されます。

老後の生活をよりよく、明かしく、豊かなものにするために、所得比例制に加入することをおすすめします。農業者年金の加入者は、ほかに、農業経営の移譲を条件として、保険料納付済期間に応じた農業者年金が支給されます。その他、わしいことは国民年金課でおたずねください。

も会(会長荒木忠義君)から、廃品回収をしてきたお金一千七百元を「身体障害者の皆さんにあげてください」といって、福祉課へ届けられました。

このお金は、荒木君をはじめ子どもたちが、夏休中に汗水を流しながら

子どもたちが、汗の結晶の使いみちを相談したところ、「世の中の困っている人に送ろう」ということになり、こんどの寄贈となったのですが、この子どもたちのほほえましいはなしを聞き、「みなさんの仲間入りさせてください」と一千元の応援を申し出る人も現れました。この人は、補導員をしている大字下林の市村和子さんです。これらの合計金額二千円は、郵便局をとおして台風の被災地へ見舞金として送られました。

品評会が終了して、午前中いっぱい会場に展示された梨は、希望者に安くゆずられ、秋の味覚をたくさんの人にたのしませました。



品評会では 慎重な審査を行なう



先般ある地区の郷土をよくする集會に出席したら、明正選挙はいかにしたら実行されるかの議題があつて、立候補した以上当選したいから金をだすのだらだなどの意見がでた。卵が先か、にわとりが先かと同じ論議になつてしまつたが、買収、供応、情実などでなせ選挙がなされるかを根本的に考へてみると、結局、選挙をする人びとに眞の自己が確立してないからではないだろうか。

候補者はだしたくないのだがだすことを要求されるからだなどの意見がでた。卵が先か、にわとりが先かと同じ論議になつてしまつたが、買収、供応、情実などでなせ選挙がなされるかを根本的に考へてみると、結局、選挙をする人びとに眞の自己が確立してないからではないだろうか。

とて、ふるまい酒で投票したり、一票を金で売ってしまうのだ。

ところで日本人は、人の指図で動いたり、その場のふんい気で行動する場合が多いようだ。小田実氏が、なんでも見てやろうという著書の中で、イギリス人は立ちどまつて考へ、考へては立ちどまりながら進んで行く、ドイツ人は考へてから走りだすといつてゐる。

その点日本人は、落語にでもでてくるように、それ火事だとなれかかると、わけもなく走りだし、その輪がどんどん大きくなつて、最後に火事はどこなのだ俺の行くところはどこなのだと極めて雷同的傾向が強くなる、自分が自分の判断で行動することが少ないといわれまふ。

自分の考へをハッキリ

花売りをする人の話したと、アパートや団地がいちばん売れやすいといふ。それは、ある軒の奥さんが買つと、隣りも、その隣りもと売れるからとのこと。隣りにカラーテレビがはいるとアパートがカラーテレビになるとの話はきいて、いかに自己が確立してないかがわかれます。

私たちは、自分を尊重してほしい。自分の考へを承認してほしいとの欲求が非常に強いものだが、他人のことになると案外のことが多いが、お互いに人間関係を高め、楽しく暮らすためには、なんともしても他人を尊重する態度を深めていかなければなりません。

同時に、そうした考へかたを含めて、自分の考へはこうだ、かくあるべきだとの考へかたを持たなければならぬ。いたづらに他人の意見に迎合したり、あなたまかせでは、いつか他人のために生きるのかと考へさせられる。こうしたい、かくあるべきだとの自分の考へを、一歩実現しようとするところに生きがいがあるものでしょう。そうした意味で、自分の考へ、自分の意見、自分の理想をもつことがたいせつだが、同時にそれが絶対のものだ、あやまりはないと過信すると、それが独善的となり、他人の摩擦を生むもので、自分と同じに尊重すべき他人のあることと、自分を常に反省、検討し修正して行く態度がなければならぬ。



先般ある地区の郷土をよくする集會に出席したら、明正選挙はいかにしたら実行されるかの議題があつて、立候補した以上当選したいから金をだすのだらだなどの意見がでた。卵が先か、にわとりが先かと同じ論議になつてしまつたが、買収、供応、情実などでなせ選挙がなされるかを根本的に考へてみると、結局、選挙をする人びとに眞の自己が確立してないからではないだろうか。

柿中と小桜小に

交通トレーニングコース

交通道德の向上に

柿岡中学校(桜井太郎校長)と小桜小学校(小原四郎校長)に、交通トレーニングコースが完成し、生徒たちは、登下校の際に利用しています。

トレーニングコースは、生徒たちに正しい交通道德を植えつけ、交通事故から守ろうと、総工費九〇万円(柿岡中六〇万円、小桜小

三〇万円)をかけてつくられたものです。コースには信号機のついた交差点や踏み切りなどが、実物をまねてつくられており、生徒たちが交通道德を学ぶうえでたいへん役立つものです。

また、交通トレーニングコースには、自転車をはじめ、自乗車バランス走行路、自乗車バランス走行路



立派にできた自転車バランス走行路 一柿岡中一

交通安全を願いパレード 瓦会小学生185名が

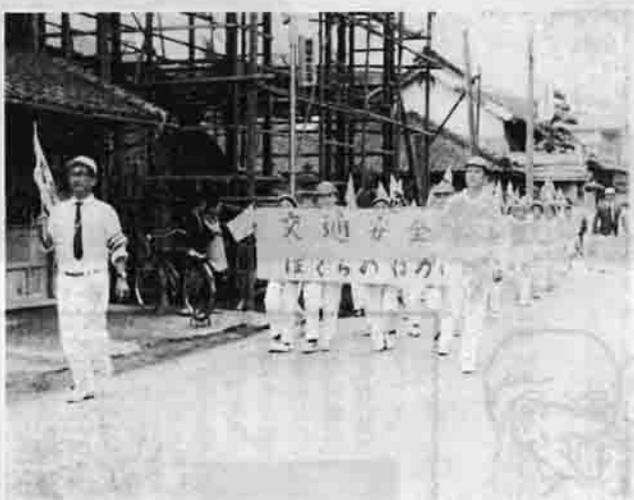
瓦会小学校(眞家勉校長)では、十月六日、先生と生徒たちが交通安全をよびかけるパレードを行いました。

この日は、三年生以上の全生徒一八五名が運動着に着替え、「交通安全をよびかけよう」と書いたプラカードを先頭に瓦谷地区をパレードし、交通安全をよびかけました。

鼓笛隊の演奏に合わせて行なわれたパレードは効果的で、このほほえましい光景を見たおとなたちは、こどもたちの願いを無にしないことを、心の中で約束したと述べています。

瓦会小学校の交通安全パレードは、以前に、交通事故によって、尊い人命が失われていくことを悲しんだ生徒たちが、学校側によびかけて行なわれるようになったものです。それ以来、交通安全運動週間中には、毎年行なわれてきました。生徒たちは、「わたした

ちの願いが実現されるように、これからも交通安全をよびかけていきたいと思います。



プラカードをもちパレードする生徒たち 一瓦谷地内一

根小屋の甲さん

県勤労者美術展に入選



「県勤労者美術展」の洋画の部に、大字根小屋の甲一郎(写真)の「人形」が入選し、「県商工会

議所連合会長賞」を受けました。入選した作品は、フランス人形を中心に、三つの異なる人形を描いたもので、約一カ月を要したという力作です。甲さんは、町の役場に勤めていますが、そのかたわらにこつこつと油絵を書きつづけているという努力家。こんど入選した作品も、勤めのきびしさ



「県勤労者美術展」の洋画の部に、大字根小屋の甲一郎(写真)の「人形」が入選し、「県商工会議所連合会長賞」を受けました。入選した作品は、フランス人形を中心に、三つの異なる人形を描いたもので、約一カ月を要したという力作です。甲さんは、町の役場に勤めていますが、そのかたわらにこつこつと油絵を書きつづけているという努力家。こんど入選した作品も、勤めのきびしさ

旗長会連盟 役場チームに 球友杯は 小幡ヤングス

野球連盟主催の連盟会長旗争奪大会は役場チーム、球友杯大会は小幡ヤングスがそれぞれ優勝しました。個人賞および対戦成績は次のとおりです。

■連盟会長旗争奪大会

の中で生まれた作品といふことで、よるこびも大きいようです。

甲さんは入選のよろこびを、「人間にはない人形の無表情の顔におもしろ味を感じる。現実には左右されな

生活改善や食生活の向上で、最近ゴミは予想以上に多く、おどろくほどの量のゴミが、ゴミ処理場に投げこまれていきます。家屋改築の廃材、テレビ洗濯器など、電気器具の廃品、雑草、家畜の死がいなど、これがゴミなのかとおどろくばかり。

町では、連日ゴミの整理をしていますが、投入量が多すぎるので、整理ができません。

こんなものも??

?? ゴミなのか

その他処理場の途中の山などに、相当量のゴミがすてられていますが、お互いに迷惑をかけるために、また、町をきれいにするためにも、お互いに注意しあってゴミをすてるようにしてください。

町のゴミすて場を、皆さんの協力できれいに使ってください。

きないほどです。みなさんには、たいへん迷惑をかけておられますが、町では独自のゴミ焼却場の建設やゴミの収集車による収集など、研究検討中ですので、当分の間お互いに注意しあって、いつもゴミ捨て場をきれいにしておきたいものです。

衛生的にゴミを整理するために、次のことに十分注意してください。

○家庭で処理できるゴミ

準決勝

恋瀬ストロンガース 6-1 芦根エンゼルス

決勝

小幡ヤングス 4-1 恋瀬ストロンガース

役場チーム 6-2 恋瀬ストロンガース

最優秀選手賞 渡辺孝行(役場)

最優秀投手賞 渡辺孝行(役場)

首位打者賞 渡辺孝行(役場)

賞中田隆雄(恋瀬)

川上雄二(〇) 眞家真助(役場)

球友杯大会

準決勝 小幡ヤングス 1-0 球友OB

決勝 恋瀬ストロンガース 1-0 役場チーム

最優秀選手賞 木村一郎(小幡)

最優秀投手賞 渡辺孝行(小幡)

首位打者賞 渡辺孝行(小幡)

一美(恋瀬)

冬をむかえ 効果的な暖房を

これから寒くなる部屋を暖かくしなければなりません。経済的に効果的でもよい暖房をするには、スキ間風を防ぎ、暖められた空気を逃げないようにくふうしたいものです。

和室の部屋は、大掃除のときなど畳との間に新聞紙を三、四枚重ねて敷くか、建築材料店に売っている黒い厚紙を敷くと畳の敷き合わせからくる風を防ぐことができます。壁や柱のすき間には、幅広のセロファンテープをはることで、少しいさいをよくなるには新聞紙を細かくちぎって練ったものや、石膏などをすり込んで、その上からボスターカラーのような絵具で同じ色に塗るのもよいでしょう。

壁と床との境もセロファンテープなり、壁紙や布で腰張りすることで、天井、スキ間にはやはりセロファンテープをはるのほうがいいです。

柱との間のわずかなスキ間ならベニヤ板の寄せ木を打つとか、フェルトのような布をあてて防ぎます。

モノサシに輪ゴム

モノサシで線を引く場合、手もが動いて思わぬ失敗をすることがあります。モノサシの片はしに輪ゴムを巻きつけておくと、すべらず便利です。輪ゴムは押さえる手と反対側、つまりふつうは右はしに巻きます。